

瀬戸内海の

「海ごみゼロ」を目指して

未来の海のために、今できることを。「CHANGE FOR THE BLUE」は国民一人一人が海洋ごみの問題を自分ごと化し、「これ以上、海にごみを出さない」という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」が推進している事業の一角。CHANGE FOR THE BLUE がかわ実行委員会

は、日本財団と瀬戸内海に面する4県香川、愛媛、岡山、広島が共同で行う包括的海洋ごみ対策「瀬戸内オーシャンズX」を通して、瀬戸内海のごみゼロを目指している。同委員会が11月19日に主催した高見島多度津町の「斉清掃」離島海ごみ清掃活動@高見島編では、瀬戸内海をむしばむ海洋ごみの現状が浮き彫りとなった。



世界の海を、瀬戸内海から変えていく。



瀬戸内 オーシャンズX

瀬戸内オーシャンズX 検索



海ごみ回収の重要さを学ぶ

「離島海ごみ清掃活動@高見島」はCHANGE FOR THE BLUE in がかわ実行委員会が香川大学と連携し、瀬戸内オーシャンズX事務局と多度津町高見島の若手漁業者らで結成した高見島と共に実施。今年8月に行われた佐柳島(多度津町)に次ぐ第2弾となる、香川大学からは、海洋環境や地域連携を学ぶ授業・サークル活動に所属する

学生約20名が参加。香川県産業廃棄物協会の協力もあり、ごみ袋計302袋、フイなど小型船一隻分を回収した。清掃エリアの砂利浜には流木も多かったが、発泡スチロールの破片やペットボトル、ボールペン、割れた注射器といったプラスチックごみも目立った。参加した学生らは清掃活動を振り返り、「海ごみ回収の機会を増やすべき」



「ごみ処理についてもっと知りたい」、「一人一人の心がけを変えていく必要がある」と今後の課題を話し合った。高見島の森田茂弘さんは学生らに感謝するとともに、「この島をよくしたいと思う気持ちが増えれば、色んな力が変わって来ます。学生さんには、これからも幅広く挑戦してほしい」とエールを送った。

高見島を離島海ごみ清掃活動のモデルケースに

離島全体が抱える社会課題

瀬戸内海に流入する海洋ごみの量は、毎年4500トンにもなる。そのほとんどが町で発生した生活ごみや産業ごみで、川や水路を通じて流れ込んだものだ。実際に回収できているのはわずか3割。残りは海岸で目にする漂着ごみ、海中を漂う漂流ごみ、海底に沈む堆積ごみとなって瀬戸内海に溜まっている。

目の当たりにし、「地域の環境保全と公衆衛生の向上のためにも、海洋ごみの多くを占めるプラスチックをリサイクルごみとして再利用していくことが前向きな姿勢を見せた。また、離島は災害廃棄物処理の支援も難しいことから、各市町との災害協定を進め有事に備える意向だ。

瀬戸内国際芸術祭の舞台でもある高見島は、多度津町沖にある塩飽諸島の一つ。本線航路に挟まれていることもあり、海洋ごみが集まりやすい島だ。島で暮らす漁師によると、台風の後には海洋ごみが帯状になって流れ込み、漁船のプロペラが巻き込んだり漁網に絡まったりして漁にも影響が出るといふ。住民の高齢化が進む中で若手が集まり清掃しているが、離島ゆえにごみを運び出すまでの保管場所も問題となっている。



*1海面(海底含む)700t/年(海面清掃船(国)200t/年・海面清掃船(港湾管理者)400t/年・漁船(海底含む)100t/年) 海洋700t/年(漁船 200t/年・500t/年) 出典:藤枝ほか(2010)・環境省調査(2007)

プラスチックごみの有害性

海 洋ごみは世界的にも増え続けており、2050年には魚の量より多くなるといわれるほど深刻化している。中でも厄介なのが、海洋ごみの半分以上を占めるプラスチックごみ。素材の特性から滞留期間が長く、自然界で分解されるまでに数百年以上かかるともいわれている。

県内各地で海ごみ対策に取り組んでいる香川県海岸漂着物対策活動推進員(かがわ海ごみリーダー)によると、海洋ごみとなったプラスチックは、海鳥やウミガメなど多くの海洋生物に影響を及ぼしている。コアホウドリが息をするハワイ諸島では、ペットボトルのキャップやライターを大量に飲み込み死に至った幼鳥が見つかったという。

また、プラスチックは紫外線や波によって徐々に破碎され、直径5^{mm}以下のマイクロプラスチックになる。問題視されているのは、これが海中の有害化学物質を吸着しながら漂い続け、小魚がプランクトンなどと一緒に食べてしまうことだ。食物連鎖を通して人間の体内にも有害化学物質が蓄積され、何らかの健康被害を誘発する恐れが指摘されている。さらにナノ粒子のような極めて微細なプラスチックになると、細胞内に侵入する可能性も否定できない。これ以上海洋ごみを増やさないこと、そして、マイクロ化・ナノ化する前のプラスチックごみをできる限り回収することが重要だ。